

会 議 録 (概要)

会議の名称	第1回 佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会	
開催日時	令和2年7月15日(水) 午前9時30分開会 午前11時48分閉会	
場所	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室	
議題	<p>(1) 検討懇談会の目的等について</p> <p>(2) 学校再編計画の概要(案)について ・検討懇談会のスケジュール(案)について</p> <p>(3) 第1次計画の検証(進捗状況)及び課題等について ・佐渡市の人口及び児童生徒数について ・学校規模の標準を下回る場合の対応の目安について ・学校再編のメリット・デメリットについて</p> <p>(4) 新たな学校再編の方向性について</p>	
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 佐渡市附属機関等の会議に関する要綱第3条第3号に該当するため。	
出席者	<p>参加者</p> <p>学識経験者 1名 教育関係者 3名</p> <hr/> <p>事務局</p> <p>佐渡市教育委員会 教育長 渡邊 尚人 教育総務課 課長 坂田 和三 課長補佐 高野 久之</p>	<p>保護者代表 3名 地域関係者 1名</p> <hr/> <p>総務係</p> <p>係長 飯田 誠 学校経営指導員 本間 健人 調査員 中川 啓一</p>
会議資料	別紙のとおり	
傍聴人の数	なし	
備考		

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
・高野課長補佐	（会議を非公開（佐渡市附属機関等の会議に関する要綱第3条第3号）とし、会議録を公開（ただし参加者の氏名を表示しない）とする説明）
・渡邊教育長	（挨拶）
（全会）	（事務局案のとおりA氏を座長とすることです承）
・A氏	（座長代行にB氏を指名）
・中川調査員	（議題1「検討懇談会の目的等について」資料1を使って説明）
（全会）	（意見なし）
・中川調査員	（議題2「学校再編計画の概要案について」資料2を使って説明。併せて「検討懇談会のスケジュール案について」を資料3に沿って説明）
・H氏	・第1次計画期間後の空白期間は、懇談会を休止していたのか。
・渡邊教育長	・第1次計画の未達成部分について対応してきた。
・D氏	・時代の流れが速いため、計画期間中に進捗状況の確認や微調整が必要ではないか。また各地域との合意形成を含めると、1年半の検討期間では短いのではないか。
・渡邊教育長	・計画期間については、懇談会で検討いただきたい。また各学校の話合いは、検討期間ではなく計画期間中に行いたい。
・B氏	・第1次計画で未達成の部分は、かなり困難な問題があったと推測する。計画期間については長いので、見直す機会を途中で入れた方がよいと思う。
・渡邊教育長	・先程のD氏からの質問の趣旨と同様なので、見解についても同様である。
・中川調査員	（議題3「第1次計画の検証（進捗状況）及び課題等について」資料4を使って説明。併せて「佐渡市の人口及び児童生徒数について」資料5-1・-2・-3を使って、「学校規模の標準を下回る場合の対応の目安について」資料6を使って、「学校再編のメリット・デメリットについて」資料7-1・-2を使って説明）
・F氏	・耐震工事後10年間は統合しないのか。

・渡邊教育長	・決まった方針はない。学校以外の目的にも使用できると思う。
・F氏	・学区外就学を今後拡大していくのか。
・渡邊教育長	・学校再編を検討していく中で、学区の見直しも進めていきたい。
・H氏	・アンケート結果で、統合して良かったという意見が非常に多かったので、検討していく価値を認識できた。 免許外教科担任より複数校兼務の方が良いと思うが、実際に兼務している教諭がいるか知りたい。
・渡邊教育長	・正規教諭の定数が、学校毎に決まっている。そのため授業数の少ない学校に非常勤講師を配置しているが、佐渡に講師が少ないため、県に正規教諭の3校兼務など特別に依頼している。ただし正式に法律上、認められていないため、検討課題の1つになっている。ご指摘のとおりだが、移動距離が問題となっている。
・B氏	・中学校3学年1学級の場合、校長を除き配置される正規教員数は何人か。
・本間学校経営指導員	・内海府中学校の場合、校長以外に正規教諭が3名、3校兼務は1名、その他に非常勤講師3名で対応している。
・B氏	・少ない学級の中学校は、損をしていると思う。
・D氏	・極小規模校ほど正規教員の定数が減るため、非常勤講師や3校兼務で対応しているが、人材確保に苦慮している。また3校兼務だと学級担任が出来ないため、モチベーションの低下が課題となっている。 ・第1次計画における国中地区の中学校統合は、新設せず既存校舎を利用することが条件になっていたが、懇談会では柔軟に検討してよいか。
・渡邊教育長	・財源確保の問題があるが、懇談会の検討により、新設が統合にとって必要となれば、提言することは可能である。
・A氏	・全学校にWi-Fi環境が整っているか。
・渡邊教育長	・今年度中にWi-Fi施設を整備し、全生徒にタブレット端末が付く計画である。
・A氏	・今いる人数に対応した回線容量か。
・渡邊教育長	・光回線のため対応可能である。
・A氏	・統合を想定した人数にも対応可能か。
・渡邊教育長	・光ケーブルなので容量として問題ない。
・B氏	・集団の中で子どもも大人も、多様性を刺激し合い学ぶことが大切である。

	旧市町村の枠より大きなククリで統合する方が進めやすいのではないか。
・ F 氏	・ 複式学級が存在する小規模校から、もう少し規模の大きな統合校や学級数が増えてくる中学校や高校に進むと、集団に馴染めない子どもが出てくるため、初めから大きめの学校に通わせた方がよいと思う。
・ B 氏	・ 小規模な学校ほど不登校になり易く、大きめの学校ほどクラス替えが出来て不登校を防げる印象がある。
・ C 氏	・ 第1次計画の統合方針を検証する必要がある。
・ A 氏	・ アンケート（案）に記載されているということは、今後も堅持するということですよ。これまで方針が上手くいかなかったわけではなく、コミュニケーション事情で上手くいかなかったわけですよ。
・ 坂田教育総務課長	・ 子ども達にとって、より良い教育環境を作っていくために、どういう形がよいかを含めて皆さんからご検討いただきたい。
・ A 氏	・ 統合前後の体力テストなど目に見える成果がないと検証しにくい。
・ B 氏	・ 昔の学力テストで、複式学級のある学校の方が明らかに数値が低かったが今もそのようなデータがあるか。
・ 渡邊教育長	・ 小規模校は良かったり悪かったりの繰り返しである。
・ B 氏	・ 結論から言うと、複式学級はない方が良いですね。
・ 坂田教育総務課長	・ 傾向が見えないかもしれないが、データを集計していきたい。
・ A 氏	・ 未就学児が小中学校に上がると、どのようにバラつくか、遠隔地の小中学校からどこの高校へ移動しているか分かるとよい。
・ 渡邊教育長	・ 保育園には学区がなく、保護者の通勤先に近いところに預けている場合もあるため、正確な数字が出ないかもしれない。一応、数だけ押さえない。
・ 中川調査員	( 議題4 「新たな学校再編の方向性について」資料8-1・-2・-3を使って説明 )
・ 渡邊教育長	(補足説明)
・ D 氏	・ 佐渡を4つのエリアに分けた場合に、児童生徒数にバラつきがある。第1次計画の統合方針に、児童生徒数によるものと地理的条件によるものと相反する条件があるが、今後の学校再編についてはバランスを取りながら検討していく必要がある。
・ C 氏	・ 県に意見具申している連携校の考え方を、今後の学校再編に反映していく

	<p>のか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ E 氏</li> <li>・ H 氏</li> <li>・ F 氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県に対し法的な制約がある中で、タタキ台として提案したものである。</li> <li>・ 連携校の考え方を佐渡モデルとして発信していけば有効な案となる。</li> <li>・ 地域の良さを残しつつ連携校案を進めていけたら素晴らしい。</li> <li>・ 中学校の仕組みと高校の分校とは違うかもしれないが、校長先生を1人にする考え方は可能ではないか。</li> <li>・ 高校の分校は、校長は本校と同じだが教育課程が違う。また本校と分校のそれぞれに教員の定員が決まっている。教員同士の連携はない。教科書も違う。これは中学校の例であるが、教科書を全く同じにする。時間割も一部同じにする。同じ先生が遠隔で合同授業をする場合もある。基本的には教育課程も同じにしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中川調査員</li> <li>・ H 氏</li> <li>・ 中川調査員</li> <li>・ G 氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 坂田教育総務課長 (全会)</li> <li>・ C 氏</li> <li>・ B 氏</li> <li>・ 中川調査員</li> <li>・ 坂田教育総務課長</li> </ul>	<p>( その他「小中学校保護者へのアンケート実施について」資料を使って説明 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 兄弟が小中学校に通学している場合、どのように扱うのか。</li> <li>・ 小中学校毎に年長さんを通じ、各1通ずつ提出いただく。</li> <li>・ 保育園の保護者の意見も入れてほしい。</li> <li>・ 保育園の保護者からもアンケートを取るようにしたい。</li> <li>・ 皆さんからのアンケートに関する意見の提出期限を決めたい。 (今週末で決定)</li> <li>・ アンケートの目的を確認したい。</li> <li>・ アンケートに答えるための基準や目安となる資料がない。急ぐ必要があるのか。</li> <li>・ スケジュール的なことを考えると急ぎたい。他の事例を参考に作成した。学校別に児童生徒数の推移を載せている事例もあったが、数字だけを載せると一人歩きしてしまう可能性もあるため、第1次計画の統合方針を参考に載せ、現状に照らして課題があることを知る切っ掛けとしてほしいと考えた。</li> <li>・ 全ての人に問題意識があるとは言えないので、アンケートを通じて一緒に考えていただく切っ掛けにしていきたい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>(全会)</li> <li>・ D氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ E氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ F氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 中川調査員</li> <li>・ 高野課長補佐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料5-1のような資料を添付したらどうか。</li> <li>(資料を付けることです承)</li> <li>・ 質問1は、総論か各論かによって答え方が違って来る。</li> <li>・ 出来るだけ総論に近い形で答えていただき、懇談会に反映していきたい。</li> <li>・ 文章が難しいのではないか。質問4は各論につながるのではないか。</li> <li>・ アンケートについて皆さんから意見を寄せてほしい。</li> <li>・ 統合を経験している者と未経験者との差は大きい。子どもが通っている学校にこれから何があるのだろうかとザワつくことが予想され、学校の大きさによってアンケートの捉え方が違うと思う。</li> <li>・ 皆さんからの意見を踏まえ、アンケートの実施時期を検討したい。</li> <li>(次回懇談会の開催について連絡)</li> <li>(閉会)</li> </ul>
---	--

(閉会：11時48分)